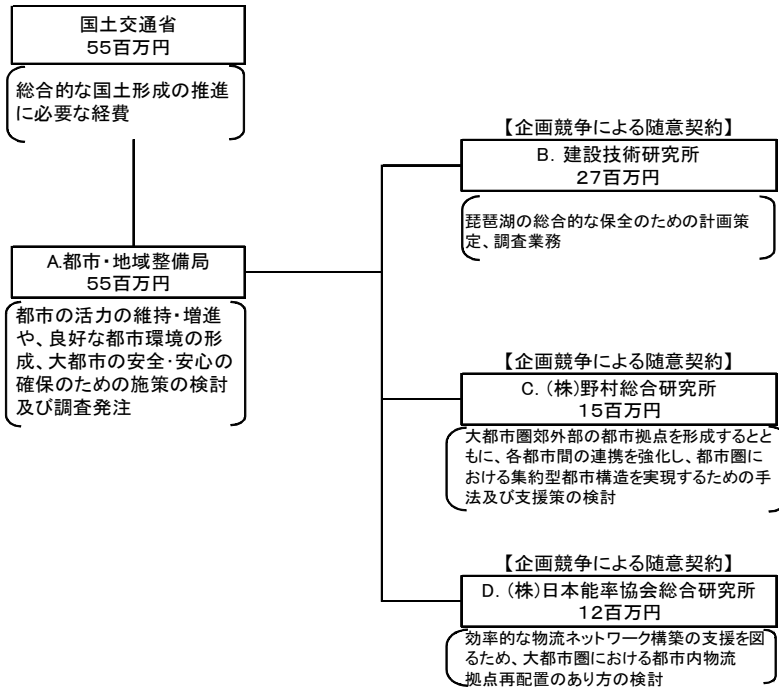


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	大都市地域整備戦略の策定経費		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	都市政策課		課長 東 潔		
会計区分	一般会計		施策名	37 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国土形成計画法、首都圏整備法 等		関係する計画、 通知等	国土形成計画、首都圏整備計画 等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	大都市圏における人口減少や急速な高齢化の進展、国際競争力の低下、都市環境の悪化、災害に対する脆弱性などの広域的かつ分野横断的な諸課題に対応するため、都市の活力の維持・増進や、良好な都市環境の形成、大都市の安全・安心の確保のための施策の検討を行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	大都市圏における広域的かつ分野横断的な諸課題に対応し、都市の活力の維持・増進のため「物流機能化の改善、都市構造の再編」、良好な都市環境の形成のため「緑地や水辺空間等の都市環境インフラの保全・再生・創出」等に係る施策検討を実施している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	178	100	57	20	0	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	178	100	57	20	0	
	執行額	169	97	55				
執行率 (%)	95.1%	97.3%	96.7%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	琵琶湖への流入負荷量(化学的酸素要求量)		成果実績	kg/日	36,543	-	調査中	35,885
			達成度	%	98%	-	-	
	交通機関別旅客輸送人員		成果実績	百万人	16124 (19年度)	-	-	15,448
			達成度	%	104%	-	-	
	大都市圏の整備推進		成果実績		-	-	-	-
達成度				-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査実施件数		活動実績 (当初見込 み)	件/年	8	5	3	1
単位当たり コスト	18,154,500(執行額/調査実施件数)		算出根拠	執行額 54,463,500円 調査実施件数 3件				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	琵琶湖の総合的保全 の推進経費	20	0	H23廃止				
	計	20	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・広域的に対応すべき大都市圏の諸課題のうち、良好な都市環境の形成やその改善については引き続き検討すべき重要な課題として残されていることから、分野を絞って調査を実施することを検討している。</p> <p>・良好な都市環境の形成においては住民等の参画の促進が不可欠であることから、地域で活動している住民・NPO等の意見がより反映されるような検討方法の導入等、より効果的な成果が得られるよう工夫を行っている。</p> <p>・発注先の選定にあたっては、平成22年度行政事業レビューの予算監視・効率化チーム所見を踏まえ、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、企画競争委員会における外部の有識者委員会による審査を導入し、より透明性・公平性の確保を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ① ④ ⑤	<p>・組織再編を踏まえ、事業番号134と一体化して重点的・戦略的に事業展開を図る。</p> <p>・大都市圏特有の広域的な課題を踏まえ、国際競争力、環境・エネルギーの観点から国が主導的に検討すべき具体的な対応策の検討に重点化する。</p> <p>・事業実施の効率化については一定の改善が認められる。引き続き不断の改善を行う。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
重点的・戦略的に事業展開を図るため、149と統合した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.都市・地域整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	都市の活力の維持・増進や、良好な都市環境の形成、大都市の安全・安心の確保のための施策の検討	54			
その他	職員旅費等	1			
計		55	計		0
B.(株)建設技術研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	琵琶湖の総合的な保全のための計画策定、調査業務	27			
その他	職員旅費等	1			
計		28	計		0
C.(株)野村総合研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	大都市圏外部の都市拠点を形成するとともに、各都市間の連携を強化し、都市圏における集約型都市構造を実現するための手法及び支援策の検討	15			
計		15	計		0
D.(株)日本能率協会総合研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	効率的な物流ネットワーク構築の支援を図るため、大都市圏における都市内物流拠点再配置のあり方の検討	12			
計		12	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	琵琶湖の総合的な保全のための計画策定、調査業務	27	随意契約(企画競争)	96.9%
2	(株)野村総合研究所	大都市圏郊外部の都市拠点を形成するとともに、各都市間の連携を強化し、都市圏における集約型都市構造を実現するための手法及び支援策の検討	15	随意契約(企画競争)	96.7%
3	(株)日本能率協会総合研究所	効率的な物流ネットワーク構築の支援を図るため、大都市圏における都市内物流拠点再配置のあり方の検討	12	随意契約(企画競争)	99.2%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					